



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

東

上場会社名 昭和飛行機工業株式会社

上場取引所

コード番号 7404

URL <http://www.showa-aircraft.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 酒巻 三郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長

(氏名) 木下 尚久

(TEL) 042-541-2111

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日

平成26年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	11,057	5.6	847	5.6	713	1.6	470	△42.6
26年3月期第2四半期	10,473	2.8	802	23.2	702	34.7	819	165.2

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 991百万円(△42.0%) 26年3月期第2四半期 1,708百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	14.42	—
26年3月期第2四半期	25.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	62,271	30,964	49.7
26年3月期	62,475	30,264	48.4

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 30,964百万円 26年3月期 30,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
27年3月期	—	4.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	1.6	2,000	△1.3	1,700	1.9	1,000	△6.4	30.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	33,606,132株	26年3月期	33,606,132株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	987,902株	26年3月期	983,354株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	32,620,973株	26年3月期2Q	31,587,221株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高110億57百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益8億47百万円（前年同期比5.6%増）、経常利益7億13百万円（前年同期比1.6%増）となりましたが、四半期純利益は前年同期に固定資産売却益を計上したことに対し、当第2四半期連結累計期間は固定資産除売却損の計上があったため4億70百万円（前年同期比42.6%減）となりました。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 輸送用機器関連事業

タンクローリーを中心とした特殊車両関係や防衛省向けシェルター製品、航空機用途のハニカム素材の販売が順調に推移した結果、売上高は42億86百万円と前年同期比10億38百万円、32.0%の増収、セグメント利益は53百万円（前年同期1億23百万円の損失）となりました。

#### ② 不動産賃貸事業

商業施設の飲食棟リニューアル工事による一部店舗の閉鎖等の影響により、売上高は32億38百万円と前年同期比1億82百万円、5.3%の減収、セグメント利益は10億40百万円と前年同期比1億6百万円、9.3%の減益となりました。

#### ③ ホテル・スポーツ・レジャー事業

ホテルレストラン増床工事による休業等が影響し、売上高は21億68百万円と前年同期比12百万円、0.6%の減収、セグメント損益は1億1百万円の損失（前年同期1億65百万円の損失）となりました。

#### ④ 物販事業

消費税変更の影響からの回復の遅れや温浴・介護関係の販売が第3四半期以降へずれ込んだ影響により、売上高は11億92百万円と前年同期比2億71百万円、18.5%の減収、セグメント損益は1億17百万円の損失（前年同期43百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて24億46百万円、15.2%減少し、136億8百万円となりました。これは主として、借入金の返済等で現金及び預金が24億20百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて22億41百万円、4.8%増加し、486億62百万円となりました。これは、有形固定資産が新規取得等により11億9百万円増加したことや、株式市況の好調により投資有価証券が10億69百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2億4百万円、0.3%減少し、622億71百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて19億74百万円、15.9%減少し、104億56百万円となりました。これは、借入金の返済により1年内返済予定の長期借入金が21億73百万円減少したことや、短期借入金が5億円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて10億69百万円、5.4%増加し、208億50百万円となりました。これは、借入れの実施により長期借入金が7億90百万円増加したことや、投資有価証券の時価増加にともない繰延税金負債が3億45百万円増加したことによります。

なお、流動負債と固定負債を合わせた借入金合計は、前連結会計年度末に比べて18億83百万円、14.4%減少の112億23百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて9億4百万円、2.8%減少し、313億6百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて7億円、2.3%増加し、309億64百万円となりました。これは、投資有価証券の時価上昇にともないその他有価証券評価差額金が5億20百万円増加したことや、四半期純利益の計上等により利益剰余金が1億84百万円増加したことによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、57億82百万円と、前連結会計年度末に比べて24億20百万円減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、当第2四半期連結累計期間では8億30百万円の資金収入となりました。これは、たな卸資産の増加による支出が6億50百万円あったことに対して、税金等調整前四半期純利益が8億35百万円あったことに加え、減価償却費の計上による収入が9億83百万円、売上債権の減少による収入が3億58百万円あったことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、当第2四半期連結累計期間では11億99百万円の資金支出となりました。これは主に、親会社株式の売却による収入が4億29百万円あったことに対して、有形固定資産の取得による支出が15億45百万円あったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、当第2四半期連結累計期間では20億54百万円の資金支出となりました。これは主に、長期借入れによる収入が20億円あった一方で、長期借入金の返済による支出が33億83百万円あったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

輸送用機器関連事業をはじめとした業績は計画どおり推移しております。

現段階では平成26年4月24日発表時の通期の業績予想につきましては、変更ありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎とする方法から退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が241百万円増加し、利益剰余金が155百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,408	5,988
受取手形及び売掛金	4,532	4,173
親会社株式	456	—
商品及び製品	503	571
仕掛品	944	1,418
原材料及び貯蔵品	778	886
繰延税金資産	127	196
その他	310	377
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	16,054	13,608
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,791	25,097
機械装置及び運搬具（純額）	1,227	1,178
工具、器具及び備品（純額）	292	334
土地	11,802	12,013
その他（純額）	654	1,254
有形固定資産合計	38,768	39,877
無形固定資産		
のれん	60	37
その他	102	87
無形固定資産合計	163	125
投資その他の資産		
投資有価証券	6,790	7,860
繰延税金資産	50	50
その他	781	878
貸倒引当金	△133	△130
投資その他の資産合計	7,489	8,660
固定資産合計	46,421	48,662
資産合計	62,475	62,271

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,640	1,605
短期借入金	1,000	500
1年内返済予定の長期借入金	5,116	2,943
未払法人税等	290	304
未払消費税等	40	61
賞与引当金	394	345
工事損失引当金	72	68
その他の引当金	8	8
その他	3,867	4,620
流動負債合計	12,430	10,456
固定負債		
長期借入金	6,990	7,780
受入敷金保証金	4,879	4,630
繰延税金負債	2,220	2,566
退職給付に係る負債	4,853	5,169
役員退職慰労引当金	383	363
その他	453	340
固定負債合計	19,780	20,850
負債合計	32,211	31,306
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,949	4,949
資本剰余金	8,977	8,977
利益剰余金	13,700	13,884
自己株式	△369	△374
株主資本合計	27,258	27,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,005	3,526
その他の包括利益累計額合計	3,005	3,526
純資産合計	30,264	30,964
負債純資産合計	62,475	62,271

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	10,473	11,057
売上原価	7,618	8,082
売上総利益	2,855	2,974
販売費及び一般管理費	2,053	2,127
営業利益	802	847
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	52	64
その他	31	18
営業外収益合計	84	83
営業外費用		
支払利息	101	86
その他	83	130
営業外費用合計	184	217
経常利益	702	713
特別利益		
固定資産売却益	475	2
地上権設定益	—	13
親会社株式売却益	—	233
特別利益合計	475	249
特別損失		
固定資産除売却損	19	126
その他	0	0
特別損失合計	19	127
税金等調整前四半期純利益	1,157	835
法人税、住民税及び事業税	357	290
法人税等調整額	△18	74
法人税等合計	338	364
少数株主損益調整前四半期純利益	819	470
四半期純利益	819	470

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	819	470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	889	520
その他の包括利益合計	889	520
四半期包括利益	1,708	991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,708	991
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,157	835
減価償却費	982	983
その他の償却額	57	61
固定資産除売却損益(△は益)	△456	110
親会社株式売却損益(△は益)	—	△233
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8	△5
受取利息及び受取配当金	△53	△65
支払利息	101	86
売上債権の増減額(△は増加)	1,180	358
たな卸資産の増減額(△は増加)	△747	△650
仕入債務の増減額(△は減少)	209	△35
未払消費税等の増減額(△は減少)	△52	20
その他	391	△337
小計	2,761	1,128
利息及び配当金の受取額	53	65
利息の支払額	△103	△87
法人税等の支払額	△364	△275
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,346	830
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△380	△1,545
有形固定資産の売却による収入	1,285	16
親会社株式の売却による収入	—	429
定期預金の預入による支出	△100	△166
定期預金の払戻による収入	100	166
その他	△51	△100
投資活動によるキャッシュ・フロー	852	△1,199
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	500	500
短期借入金の返済による支出	△500	△1,000
長期借入れによる収入	1,000	2,000
長期借入金の返済による支出	△1,868	△3,383
自己株式の取得による支出	△3	△5
配当金の支払額	△126	△130
その他	△38	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,035	△2,054
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,166	△2,420
現金及び現金同等物の期首残高	5,105	8,202
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,271	5,782

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	輸送用機 器関連事 業	不動産賃 貸事業	ホテル・ スポーツ・ レジャー事 業	物販事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,248	3,421	2,180	1,463	10,314	159	10,473	—	10,473
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	223	86	6	9	326	129	455	△455	—
計	3,471	3,508	2,187	1,472	10,640	288	10,929	△455	10,473
セグメント利益 又は損失(△)	△123	1,146	△165	△43	814	△12	802	—	802

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業及び福祉介護事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	輸送用機 器関連事 業	不動産賃 貸事業	ホテル・ スポーツ・レ ジャー事業	物販事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	4,286	3,238	2,168	1,192	10,886	171	11,057	—	11,057
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	138	78	6	0	224	129	353	△353	—
計	4,425	3,317	2,174	1,193	11,110	300	11,410	△353	11,057
セグメント利益 又は損失(△)	53	1,040	△101	△117	875	△28	847	—	847

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業及び福祉介護事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

この変更によるセグメント利益又は損失(△)に与える影響は軽微であります。